

「ベッドサイドの臨床薬理学」への症例提示、参加のお願い

日本臨床薬理学会の学術委員会は、「臨床薬理学」の知識、スキルを活かして、臨床において、より安全で適切な薬物療法を実践することを学び、考えるための「ベッドサイドの臨床薬理学」をワークショップ形式で年2回実施してきました（うち1回は学術総会）。

今までは、学術委員を中心に症例の選択、提示を行ってきましたが、今後、実臨床に携わる医師、薬剤師の先生方の経験した教訓的な症例の提示を、広く募集し、多くの会員の皆様と共有し学習することを目指すことにいたしました。是非ともご遠慮なく、積極的に症例提示頂くことをお願いする次第です。

このワークショップは、症例提示、ポイントになる事項についての設問提示、（参加者による）その設問や症例についてのディスカッションおよび発表、設問および症例に関する解説（ミニレクチャー）というスタイルで、1題40～50分をめぐり、行います。判断や治療法に困るような症例を参加者とともに考えるというものも歓迎します。発表は複数者になってもかまいません。

今回は、2024年6月15日（土）13時からWEBにて行います。また、日本臨床薬理学会学術集会（2024年12月13、14日）でも実施予定です。

症例提示頂ける先生方は、学会事務局まで clinphar@jscpt.jp ご連絡お待ちしております。

また、今回のワークショップへの参加の募集も4月上旬より臨床薬理学会のホームページで行います。